シンポジウム

放送はだれのもの

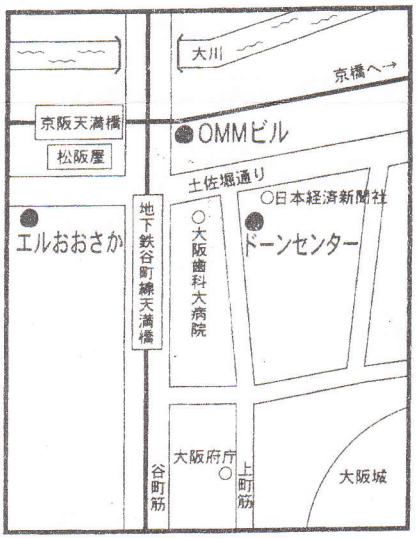
Vチップ導入問題と放送のあり方を考える

昨年12月、郵政省の「青少年と放送に関する調査研究会」はテレビ局に対し、Vチップの導入の見送りとともに、青少年に配慮した放送時間帯の設定や番組内容の事前表示を自主的に行うことなどを求める提言をまとめました。この問題では、暴力的な表現や性的な表現だけでなく、男女の性別役割分業の固定や「性の商品化」などの性差別的な表現も併せて議論される必要があります。
在阪テレビ各局の担当者をお迎えして、Vチップ導入問題と、視聴者の声が届く放送のあり方をめぐって、視聴者との間で意見交換を行います。

パネリスト

朝日放送　長沢彰彦さん（広報局局次長）
テレビ大阪　相方清隆さん（制作センター編成グループ副部長）
毎日放送　西村秀樹さん（広報室視聴者センター部長）
読売テレビ　松田士郎さん（審査局局次長待遇、考査総括責任者）
ＮＨＫ大阪放送局　延原臣二さん（考査室主査）

日　時：3月29日（月）午後7時～9時
場　所：ドーンセンター　地下鉄谷町線並びに京阪天満橋駅下車、東へ徒歩約５分
（TEL 06-6910-8500）
1階・パフォーマンススペース
参加費：1000円
主　催：コマーシャルの中の男女役割を問い直す会、放送と女性ネットワーク in 関西



1998年度大阪府ジャンプ活動助成事業

お問い合わせ・連絡先：尼崎市東園田町3-83-7-103　吉田清彦　TEL/FAX 06-6499-1274